

市松もようのまっど

市松模様は、古くは石畳と呼ばれ、古墳時代のはにわの服の柄にも用いられていました。

江戸時代中期には、歌舞伎役者の佐野川市松が舞台で白と紺の

格子模様の袴を履いたところ、当時の女性の間で大流行になり、

その後「市松模様」と呼ばれる様になりました。

市松模様は、上下左右に途切れることなく永遠に続いていく

イメージから、事業拡大や子孫繁栄などの縁起の良い柄として

多くの人に親しまれています。



販売価格 *税別価格です。

サイズ (cm)

75×90

15,500円

90×150

30,900円

お問い合わせは

BARON

いたる場所で、いたるココロを。

富山市北代5298番地
株式会社バロン 担当

TEL : 076-434-1881

FAX : 076-436-0145